

稿
帳

澤

合
諭

之
吉

著

法

二

編

三

永津10

180

3

永津10

180

3



藏書

帳合之法卷之三

譯者附言

第二編ノ本式ニ至テハ諸帳面並ニ書付ノ數モ次第ニ増

シ其名目ニ付キ混雜ヲ生ズ可ク或ハ横文ヲ讀ム人ハ原

書ヲ見テ獨リ不審ヲ質ス一モアル可ケレバ此譯書中ニ

ハ此原語ヲ斯ク譯セシトノヲ知ラシメテ學者ノ便利

供ヘシガタメ其譯例ヲ示ス一左ノ如シ

ブックキイピング

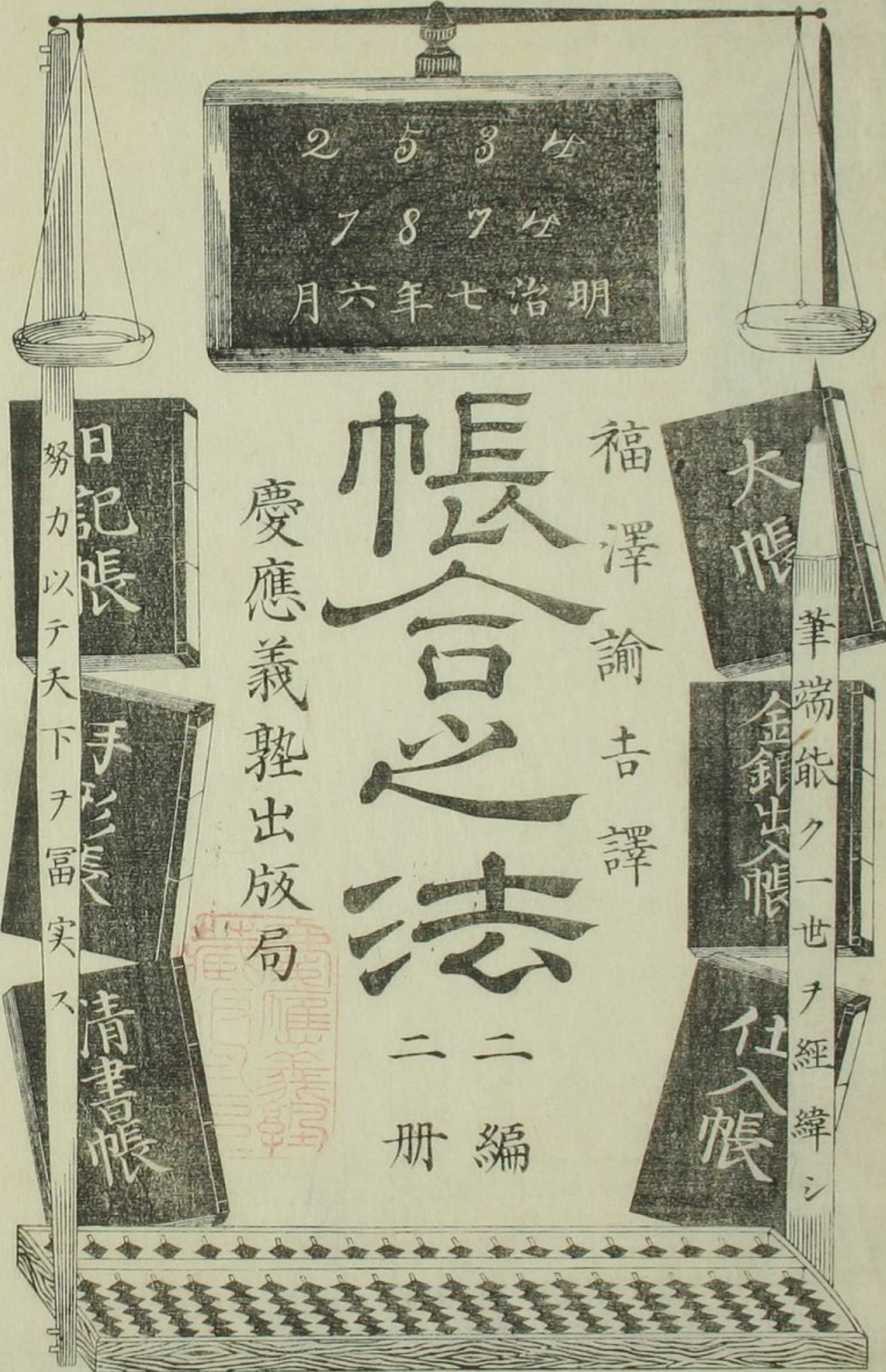
ブック

帳合
帳面

昭和廿一年一月九日

福澤諭吉

譯



帳合之法

二二
冊編

福澤諭吉譯

慶應義塾出版局

日記帳

手帳

清書帳

大帳

金銀出帳

仕入帳

筆端能ク一世ヲ經緯シ

努力以テ天下ヲ富実ス

畧式

本式

借

貸

取引

商賣

勘定

差引又ハ掛ケ

元金

利足

シングル・エンタリ

ドッブル・エンタリ

デビト

ケレデト

トランス・アクション

ビジニス

エツカチント

チヌ・エツカチント

カピタル

インテレスト

或ハ單記
或ハ複記
或ハモヨシト

元入

日記帳

大帳

金銀出入帳

賣帳

清書帳

仕入帳

送状

手形帳

手形

インウエストメント

デイブック

レヂヤル

ケシブック

セイルブック

ジョルナル

インウエントリ

インボイス

ビルブック

ビル又ハ「ヲト」

高賣品

メルチャンダイズ

平均又ハ残金

バランス

平均改

トライヤル・バランス

元手又ハ手當

レソウルス

拂口又ハ列負

ライエビリチ

利益

ゲエン

損亡

ロス

平等付合

エク井リブリユム

平均表

バランスシート

為替又ハ兩替

エキスチャンジ

帳合之法卷之三

福澤諭吉 譯

第二編本式

惣論

畧式ノ帳合ヲ以テ勘定ヲ為スモ尚コレヲ法ト名ク然バ
 則チ本式ノ帳合ハ學問ニ非ラズシテ何ソヤ真ニコレヲ
 學問ト名ク可キナリ畧式ニテモ高賣ノ有様ヲ明ニスル
 ニハ申分ナキ法ナレトモ本式ノ功能ハ當ニ高賣ノ有様ヲ
 明ニシテ其正シキ證據ヲ示スノミナラズ精密ナル算法
 ヲ以テ利益ト損亡トノ由テ來ル所ノ道筋ヲ顯ハスモノ

ナリ畧式ト本式ト相異ナル所ハ專ラ此一条ニ在リ且畧式ニ於テハ事ノ始末ヲ見ルニ大帳金銀出入帳手形帳或ハ其他ノ小帳ヲ合セテ惣勘定ヲ為スナレト本式ニ於テハ元手モ拂口モ利益モ損亡モ悉皆大帳ノ一冊ニ就テ其始末ヲ見ル可シ是亦兩式相異ナル所ナリ

畧式ト本式トノ區別ヲ明ニ知ランニハ初編ノ第三式ト第二編ノ第三式トヲ比較シテコレヲ見ル可シ高賣ノ取引ハ兩式共ニ同様ナルユエ帳合ノ區別ヲ見ルナ甚タ易シ

本式ノ名ハ畧式ノ反對ニテ本式ニハ一箇条ノ取引ヲ二

重ニモ三重ニモ大帳ヘ記スユエ斯ク名ケタルナリ此帳合ノ仕方ハ大帳ノ面ニ同シ借貸ヲ顯ハス趣向ナリ即チ帳面ノ借ノ方ヘ二重ニモ三重ニモ記シタル同シ金高ヲ貸ノ方ヘモ二重ニモ三重ニモ記スハツマリ其借貸ハ互ニ平均スルノ理ナルユエ此法ニ由テ明ニ帳合ノ正否ヲ糺ス可キナリ

同シ高ノ借貸ヲ以テ互ニ相平均スルノ法ハ本式ノ大趣意ニテ勘定ニ巧ナル商人ハコレヲ實地ニ施シテ其功最モ美ナリト虽世ノ人或ハコレヲ誹リ此法ハ奇怪ニシテ混雜シ易ク未熟ノ人ノ心ヲ惑ハシテ却テ帳合ノ用

ヲ達スルニ足ラズト云フ者アリ蓋シ此愚論ハ取ルニ足
 ラズ他日若シ此輩ノ人ヲシテ聊カ知見アラシメナバ此
 帳合ノ法ニ暗シトテ必ず自カラ赤面スルコトアル可シ
 八若シ本式ノ法ノ良否ヲ疑フ者アラバ唯尤ノ如クコレ
 ニ答ヘンノミ本式ノ法ノ内ニハ畧式ノ功用ヲ盡ク備ヘ
 テ一トシテコレヲ洩ラスコトナク略式ノ功用ハ一トシテ
 本式ニ異ナルコトナシ唯本式ハ略式ノ用ヲ更ニ十分ニ成
 スモノナリト余輩ノ見ル所ニテ此兩式ノ相違ヲ云ヘバ
 略式ハ元手ト拂口トヲ記スノミナレト本式ハ元手ト拂
 口トヲ示シテ兼テ又利益ト損亡トノ始末ヲモ記セリ是

即チ本式ノ大眼目ナレバ事ニ念ヲ入ル、人ハ必ず此法
 ヲ用ヒザルヲ得ズコノ法ニ由レバ諸商賣ノ利不利ヲ互
 ニ比較シテ利アル方ニ從フヲ得ベク且畧式ニ於テハ書
 損又ハ勘定違ヲ其マ、ニ看過スコトモアレト本式ニハ此
 患極テ少キナリ
 本式ニ於テモ勘定ノ主タル帳面ハ大帳ナリ其趣兩式相
 異ナラズト畧式ノ大帳ニハ他人トノ取引ヲ記スノ
 ミニテ本式ノ大帳ニハ交易ヲ行フ毎ニ其交易ノ種類ト
 其交易ニ由テ生ズル所ノ損亡ト利益トノ始末ヲ記セリ
 故ニ本式ノ大帳ハ借貸ノ人トノ勘定ヲ示スノミナラズ

高賣ニ取扱フ所ノ品物並ニ損益ノ生ズル原因マデモ悉皆コレヲ相手ニ立テ、其勘定ヲ為スモノナリ

世間一般ノ仕来ニテ本式ニ於テモ金銀出入帳手形帳ヲ用ル下畧式ノ如クスト虫氏金銀ト手形トノ事ヲ實ニ示

スモノハ大帳ノ勘定ナリ
本式ニ主トシテ用ル所ノ帳面ヲ三様ニ分ツ日記帳清書

帳大帳是ナリ時トシテハ日記帳ト清書帳トヲ一帳ニ合シテ两用ヲ兼ル一モアリ

日記帳ノ事

日記帳ハ帳合ノ元帳ニシテ取引ノ手續ヲ其順序日附ニ

從テ記スモノナリ其書方ハ簡易ニシテ解シ易ク少シモ不分明ノ一アル可ラズ或ハ余計ノ文字ヲ用ヒテ讀ム者ノ心ヲ惑ハシ或ハ文句不足シテ誤解ヲ生ズルナド何レモ宜シカラザル一ナリ

清書帳ノ事

清書帳ハコレヲ日記帳ニ合セズシテ別ニ用ル氏ハ日記帳ト大帳トノ間ノ帳面ナリ其用ハ都テ取引ヲ大帳へ記ス前ニ其借貸ヲ慥ニ定ルタメノモノナリ斯ク取引ノ借貸ヲ定ル一ヲ名ケテ清書ト云フ

大帳ノ事

大帳ハ始末ノ帳面ナリコレヲ帳合ノ仕上ケ帳ト云フ可
 シ詳ニ商賣ノ惣勘定ヲ為スタメニ入用ナル事柄ハ悉皆
 大帳ノ面ニ見ハレ現在ノ元手ト拂口トヲ示スノミナラ
 ズ夫々ノ取引ニ就キ損益アリシ一マデモ此帳面ニ由テ
 見ル可シ斯ノ如ク他ノ帳面ノ扣ヲ集テ大帳ニ記ス一ヲ
 名ケテ寫シト云フ
 左ニ此三帳ノ例ヲ舉テ一箇条ノ取引ニ就キ各其扣ノ体
 裁ヲ示スガ故ニコレニ由テ明ニ其用法ヲ知ル可シ

明治六年

日記帳

一月一日

東京

| | | | |
|-----------|----|---------|------|
| 山城屋ヨリ買代掛ケ | 二日 | 四一〇、之 | 五〇〇〇 |
| 大和屋へ賣代現金 | 二日 | 四一〇、五〇之 | 一〇五〇 |
| 麦粉 百俵 | | | |
| 麦粉 百俵 | | | |
| 圓位 | | | |
| 錢位 | | | |

一

子借

山城屋

貸

| | | | |
|----------|------|--|--|
| 一月 日二 | 品物へ | | |
| 丁一 | 一〇五〇 | | |
| 一月 日一 | 品物ニテ | | |
| 丁一 | 五〇〇〇 | | |

子借

正金

貸

譯者註惣論ニモ云ヘル如ク本式ノ法ハ一箇条ノ取引

ニ付同シ金ノ高ヲ二重ニモ三重ニモ大帳ニ記シ互ニ

平均シテ其始末ヲ見ル趣向ナルユエ此大帳ニアル借

貸ヲ日本流ハ考ニテ唯他人へ借貸トノ思フ可ラス

高賣ノ品物モ正金モ一人ノ人ノ如クニ見タルモノユ

エ假ニコノ品物ノ二字ヲ品物預リ人ト解シ正金ノ二

字ヲ金箱預リ人ト解シタラバ初學ノ人ニ合点シ易ス

カル可シ先ツ大帳ノ面ニテ品物が山城屋へ五千圓借

トハ品物預リ人ガ山城屋ヨリ掛ケニテ五千圓ノ高賣

品ヲ買ヒ未タ其代金ヲ拂ハザルユエ借ナリ正金ニテ

千零五十圓貸トハ現金ニテ此高ノ品ヲ大和屋へ賣リ
其代金ヲ金箱預リ人ノ手ニ渡シタルユエ貸ナリ又山
城屋ガ品物ニテ五千圓貸トハ此高ノ品物ヲ掛ケニテ
賣渡シ未タ代金ヲ受取ラザルユエ貸ナリ又正金ガ品
物へ千零五十圓借トハ金箱預リ人ガ品物預リ人ヨリ
此高ヲ受取テ金箱へ納メタルユエ借ナリ本式ノ帳合
ヲ學ブ者ハ早合点ノタメ假ニ此考ニテ帳面ヲ解ス可
シ尚詳ナルハ後ニ記ス所ノ例ヲ見ル可シ
初ノ日記帳ノ例ニ山城屋ヨリ買代掛ケトハ或ハ差列
ト記スモ差支ナシ

勘定ノ學問

商賣ニ必用ナルモノハ其順序手續ヲ記ス帳面ナリトハ
^{三五} 虽モ勘定ノ學問ノ主トスル所ハ大帳ノ面ニテ取引ノ始
末ヲ明ニスルニ在リ此一義本式ノ帳合ニ於テ最モ然リ
トス本式ニ用ル大帳ハ何レノ取引ヲモ記シテ洩ラス
ナク何時ニテモ商賣ノ有様ヲ明ニスルモノナリ
^{三六} 大帳ニアルロク勘定ノ箇条ハ其一箇条毎ニ出入ノ事實
ヲ記シ或ハ元手或ハ拂口或ハ利益或ハ損亡コノ四者ノ
内ノ一ヲ示シテ其始末ヲ明ニスルモノナリ但シ其始末
ヲ明ニスルノ法ハ^{三七} 勘定ノ借ノ方ト貸ノ方トヲ照合セテ

其差ヲ見ルノ之其例左ノ如シ

| | | | | | | | |
|--------|--|---------|------|--------|------|--------|--|
| 借 | | 一月 | | 一月 | | 貸 | |
| 八金ナリ | | 元入へ | 五〇〇〇 | 品物ニテ | 二五〇〇 | 出金ナリ | |
| | | 品物へ | 一五〇〇 | 同 | 一〇〇〇 | | |
| | | 同 | 五〇〇〇 | 伊賀屋ニテ | 五〇〇〇 | | |
| | | | | 雑費ニテ | 三〇〇〇 | | |
| | | メ四一一五〇〇 | | メ四四五〇〇 | | | |
| 入金合テ | | | | | | 四一一五〇〇 | |
| 出金合テ | | | | | | 四、五〇〇 | |
| 有金即チ元手 | | | | | | 七〇〇〇 | |

| | | | | | | | |
|--------|--|--------|------|--------|------|--------|--|
| 借 | | 一月 | | 一月 | | 貸 | |
| 元代ナリ | | 元金へ | 二五〇〇 | 品物 | 一五〇〇 | 賣上ケ代ナリ | |
| | | 同 | 一〇〇〇 | 同 | 五〇〇〇 | | |
| | | 伊賀屋へ | 一五〇〇 | | | | |
| | | メ四五二〇〇 | | メ四六五〇〇 | | | |
| 賣上ケ代合テ | | | | | | 四六五〇〇 | |
| 仕入元代合テ | | | | | | 五、二〇〇 | |
| 賣徳即チ利益 | | | | | | 一、三〇〇 | |

| | | | | | | |
|------|------|------------------|-----|------|------|----------|
| 借 | 一月十三 | 正金へ | 五〇〇 | 一月四十 | 品物ニテ | 一五〇〇 |
| | | | | | | |
| | | 此方ガ伊賀屋へ借 | | 伊賀屋 | | 此方ガ伊賀屋へ借 |
| | | 伊賀屋ガ此方へ借 | | 雜費 | | |
| | | 伊賀屋へ拂フ可キ差引殘金即チ拂口 | | 貸 | | |
| 一月十三 | 正金へ | 三〇〇 | | | | 四三〇〇 |
| | | 雜費ノ高即チ撰亡 | | | | |

右ノ例ニ舉ケタル勘定書ノ口々ハ都テ大帳ニ記ス可キ箇条ヲ示シテ唯元入金ノ一箇条ヲ省キタルノミ元入金ノ箇条ハ即チコノ帳面ノ主人タル可キ人ノ勘定ナレバ若シコノ箇条ヲ大帳ノ面ニ舉テ一口ノ勘定ヲ立ル氏ハコノ箇条ニハ高賣ノ初ニ用ヒタル正味元入金ノ高ヲ記シテ借貸ノ勘定ヲ為ス可キ筈ノモノナリ前ノ例ニ示ス諸口勘定ノ内ニテ正金ノ箇条ノ初筆ニ正味ノ元入ハ五千圓トアルユエ今コノ次第ニ由テ左ノ如ク差引ヲ為セバ其差引ノ法ハ簡畧ナレ氏勘定學ノ主トスル所ノ大趣意ハコレニ由テ十分ニ知ル可キナリ

元手

有金

拂口

伊賀屋ヨリ借

正味元手即チ現在ノ身代

四七、〇〇〇

一、〇〇〇

六、〇〇〇

利益

品物ニテ

四一、三〇〇

損亡

雜費ニテ

二〇〇

正味ノ利益

一、〇〇〇

初ノ元入ノ高

五、〇〇〇

現在ノ身代

六、〇〇〇

前ニ説キ明ニセシ趣ヲ以テ一般ニ左ノ事柄ヲ合点ス可
キナリ

第一 勘定トハ或ハ人或ハ品物或ハ事柄ニ関ルイテ記

シテ明ニ其始末ヲ示スモノナリ

第二 勘定書ハ必ズ二段ニ分テ一方ヲ借ト名ケ一方ヲ

貸ト名ケ両方共ニ別々ノ取引ヲ記シテ其始末ヲ見ハシ

両方ノ金高ヲ照合セタル差ニ由テ一般ニ商賣ノ有様ヲ

知り其大切ナル始末ヲ分ルヤウニシタルモノナリ

第三 勘定書ハロレテ分テ二様ニ為ス可シ其一ハ元手

ト拂口トヲ示シ其二ハ利益ト損亡トヲ示スナリ

第四 ^{三五}高賣ノ正味ノ損益ハ大帳ノ面ニテ利益ト損亡ト
 フ示ス勘定書ノ箇条ニテ明ナリト虽氏尚又元手ト拂口
 トヲ示ス勘定書ノ一般ノ始末ヲ見レバ其損益ハ正シク
 身代ノ増減ニ符合スルユエ此増減ニ由テ損益ノ多少ヲ
 知ル可キナリ

借ト貸トノ事

^{三六}借ト貸トノ字ヲヨク解シテ其字ノ義ヲ明ニ定ルハ勘定學
 ノ一大難事ニテコレガタメニハ勘定ノ學者先生モ常ニ
 困却セリ或ハ名譽ヲ好ム先生ハ其才智ヲ以テ世ニ誇ラ
 シトシ帳合清書ノ名法ヲ發明シタリトテ勘定學ノ事ニ

就キ議論ノ著述ヲ企テ此法ヲ用レバ勘定學教授ノ風ヲ
 一變シテ萬代不易世間ノタメニ易キ帳合ノ道ヲ関ク可
 シト云フ者アリ學問ニ苦シム生徒ハコノ説ヲ聞テ其詳
 ナルヲ尋レバ先生ノ議論モ亦別段ニ奇ナルニ非ズ唯借
 ルト借ララルトノ意味ノミ其論ニ云ク借トアレバ悉皆
 汝ニ借リタルモノナリ貸トアレバ悉皆汝ノ借リタルモ
 ノナリ故ニ汝ガ他ヘ引負ヲスルモノヲ借トシ汝ガ身ニ
 引負ト為ルモノヲ貸ト為ス可シト
 又一種ノ學者先生ハ前ノ説ト相反シ借モ貸モ其字義ニ
 所據アルニ非ラズ帳合ニ於テ借ト名ケ貸ト名ル所ノモ

ノハ實ニ借ニモ非ズ亦貸ニモ非ズ其場所ニ從テ各其意
 味ヲ異ニセリト云フ者アリ右ノ如ク勘定學ノ義ヲ説ク
 ノ法ヲ異ニスルノミニテ其學問ノ趣意ニ從テコレヲ勘
 定ノ實事ニ用ルニ至テハ此説ノ者モ彼ノ説ノ者モ相異
 ナルヲ能ハザルナリ

人々ノ議論同ジカラズシテ各其方向ヲ異ニスト虫氏ヨ
 ク此學問ノ趣意ヲ解シテ自由ニコレヲ取扱フ者ハ即チ
 貴ム可キ人物ナレバ我輩ニ於テ固ヨリコレヲ輕蔑ス可
 キニ非ズ或ハ又其説ヲ排シテ我輩ノ説ヲ立ントスルノ
 意モアラザルナリ元來學義ヲ説クノ良法如何トテコレ

ヲ詮索スルハ唯學問ノ議論ニシテ事實ニ關係スルヲニ
 非ズ勘定學ヲ教ル人ノ主トス可キ所ハ學義ヲ説クノ巧
 拙ニ在ラズシテ學義ヲ知テヨクコレヲ活用スルニ在ル
 ナリ

學者ヨク左ノ七箇条ノ規則ニ熟シテコレヲ忘ル、下ナ
 クバ高賣ニ於テ何等ノ帳合ニテモ借ト貸トヲ定ルニ難
 キ下ナカル可シ

規則

第一則主人

高賣ニ元入金ヲ出シタル主人ハ其元入ノ金高ト高賣ノ

利益ノ高トテ以テ貸ト為シ主人ノ引請タル拂口ト高賣ノ高ヨリ引去タル金ト引請タル損亡トテ以テ借ト為スナリ

第二則正金

^{三十九}正金ノ勘定ハ請取タル高テ借ト為シ拂出シタル高テ貸ト為スナリ

第三則品物

^{四十四}景氣見込テ以テ仕入タル品物ハ仕入元代テ以テ借ト為シ其品ノ賣上ケ代テ以テ貸ト為スナリ

第四則請取口手形

^{四十五}請取口手形ノ勘定ハ他人ノ手形他人引受ノ證文其外都テ金子引替ノ約条書ヲ此方へ請取タルキニ其書面ノ高ヲ以テ借ト為シコレヲ引替ル歟又ハ他ニ用ルキハ其高ヲ貸ト為スナリ

第五則拂口手形

^{四十六}拂口手形ノ勘定ハ此方ノ手形此方引請ノ證文其外都テ金子引替ノ約条書ヲ出シタルキニ其書面ノ高ヲ以テ貸ト為シコレヲ引替タルキハ借ト為スナリ

第六則他人

^{四十七}バンク其外都テ此方ト取引スル他人ノ勘定ハ其當人が

此方へ對シテ引負ト為ル歟或ハ此方ヨリ兼テノ引負ヲ先方へ返シタル氏ニ借ト為リ此方ガ先方へ對シテ引負ト為ル歟或ハ先方ヨリ兼テノ引負ヲ此方へ返シタル氏ニ貸ト為ルナリ

第七則雜費

何等ノ名目ニテモ費ス所ノモノハ其費シタル高ヲ以テ借ト為シ何等ノ事柄ニテモ利ヲ得ルモノハ其利ノ高ヲ以テ貸ト為スナリ

定

高賣ノ元高ハ借ナリ高ヒ高ハ貸ナリ

吟味ノ問題

惣論ノ文

- 一 本式ノ帳合ハ畧式ヨリモ格別ニシテコレヲ明ニ學問ト名クルハ何故
- 二 兩式ノ相異ナル所ハ何等ノ箇条ニ在ルヤ
- 三 其相違ヲ明ニ見ントスルニハ如何ス可キヤ
- 四 本式トハ何故ニ名ヲ下ダシタルヤ
- 五 大帳ノ面ニ記ス趣ハ如何
- 六 大帳ノ面ニ平均スレバ何等ノ便利アルヤ
- 七 借貸ヲ平均スル法ニ就キ世ノ人ノ說如何

八 本式ノ良否ヲ疑フ者アラバコレニ答ルテ如何

セシ

九 余輩ノ見ル所ニテ此書中兩式ノ相違如何

十 商賣人ノ本式ヲ用ルハ何故

十一 本式ニ於テ勘定ノ主タル帳面ハ何レノ帳面ナ

ルヤ

十二 本式ノ大帳ト畧式ノ大帳ト其相違如何

十三 本式ノ大帳ニハ他人トノ勘定ノ外ニ何事ヲ記

スヤ

十四 金銀出入帳ト手形帳トノミニテ金銀ト手形ト

ノ事ヲ記スヤ

十五 本式ニ主トシテ用ル三帳ノ名ハ如何

十六 時トシテ三帳ノ内ノ二帳ヲ一ニ合スルテアレ

バ何帳ト何帳トテ合スルヤ

十七 日記帳ニハ何ヲ記スヤ

十八 日記帳ノ書方ハ如何ス可キヤ

十九 清書帳ハ他ノ帳面ニ對シテ何モノナルヤ

其用ハ如何

二十 借貸ヲ定ルテ何ト名クルヤ

二十一 大帳ハ何モノナルヤ

二十三 大帳ニハ何事ヲ記スヤ

二十四 大帳ニ記スレテ何ト名クルヤ

勘定ノ學問ノ文

二十五 勘定學ノ主トスル所ハ何事ナルヤ

二十六 大帳ノ口々ノ勘定ハ何モノナルヤ

二十七 其始末ヲ明ニスルノ法ハ如何

二十八 正金ノ勘定ニ借ノ方多ケレバ其差ハ何モノナルヤ

二十九 品物ノ勘定ニ貸ノ方多ケレバ其差ハ何モノナルヤ

三十 他人ノ勘定ニ貸ノ方多ケレバ其差ハ何モノナルヤ

三十一 雜費ノ勘定ニ借ノ方多ケレバ其差ハ何モノナルヤ

三十二 勘定トハ何事ナルヤ

三十三 勘定書ノ体裁ハ如何

三十四 勘定書ハ何様ニ分ツヤ之ヲ分テ何事ヲ示スヤ

三十五 勘定書ノ箇条ニテ見ル可キ正味ノ損益ハ何モノト符合シテ尚其明ナルヲ知ル可キヤ

三十六 勘定學ノ一大難事ハ何事ナルヤ

中合之書
卷之三

三十七 本式ノ義ヲ實事ニ施スニ付キ學者各其法ヲ異

ニスルヤ

三十八 高賣ノ主人ハ何ヲ借ト為シ何ヲ貸ト為スヤ

三十九 正金ノ勘定ハ何ヲ借ト為シ何ヲ貸ト為スヤ

四十 品物ハ如何

四十一 請取口手形ハ如何

四十二 拂口手形ハ如何

四十三 他人ハ如何

四十四 雜費ハ如何

四十五 借貸ノ定ハ如何

差列書ノ事

差列書トハ取列ノ出来シマ、ノ有様ニ從テ其勘定ヲ記シ先方ノ人へ對シテ或ハ借ト為リ或ハ貸ト為リテ未タ出入ノ皆濟セザル差列ヲ示スモノナリ掛ケノ賣買ニテ其取列ノ高次第ニ多クナルキハ双方拂方ノ時ヲ平均シテ其過不足ノ差ヲ拂ヒ互ニ利足ノ損亡ヲ蒙ルヲナカラシムガタメ差列ノ書付ヲ作ラザル可ラズ拂方ノ時ヲ平均スルノ法ハ世間出版ノ算術書ニ記セルモノモ多ク余輩ノ著述大學用帳合之法ニモ詳ニ示シタリ左ニ記ス差列書ハ其最モ簡畧ナル一例ナリ

丸屋善八棟

五引

福澤諭吉

| | | | | |
|--------|--------|-----|-----|--------|
| 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 |
| 帳合之法初編 | 西洋事情初編 | 同二編 | 同二編 | 同外編 |
| 二十四部 | 十二部 | 十五部 | 十二部 | 十二部 |
| 六五七 | 六五七 | 七五七 | 四一 | 四一、二五七 |
| 一五六 | 七八 | 三七五 | 五 | 九 |
| 一五 | 五 | 五 | 五 | 五 |

| | | | | | | | |
|---------|------|--------|------|--------|------|-----|--------|
| 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 十二月 |
| 素本世界國つし | 窮理図解 | 童蒙教草初編 | 同二編 | 啓蒙手習之文 | 萬國一覽 | 改曆辨 | 條約十一國記 |
| 六十部 | 六十部 | 卒四部 | 百部 | 三十部 | 六十部 | 六百部 | 二十部 |
| 五〇七 | 二五七 | 七五七 | 三七七五 | 二五七 | 一〇七 | 三七三 | 七七五 |
| 三〇 | 一五 | 四八 | 三七五 | 七五 | 六 | 一九八 | 一一五 |
| 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 |

八月十三日 學問のとりめ 五十五部

四七

貸

七月十日 正金ニテ

八月十五日 同

八月十五日 同

差引不足

| | | | |
|--|-----|------|------|
| | | | |
| | | 一〇 | 二二〇 |
| | 一三五 | | 二八三 |
| | 五〇 | | 二八三〇 |
| | | 一九五 | 五 |
| | | 八七八五 | |

第一式

日記帳、清書帳、大帳ヲ用ヒ清書惣勘定

等ノ法ヲ示ス但シ高賣ハ利益ヲ

得タル有様ヲ記スモノナリ

端書

左ニ示ス所ノ第一式ノ例ハ高賣ニ於テ最モ簡畧ナル取引ヲ記スモノニテ其趣意ハ前段七箇条ノ規則ヲ解キ明ニシ學者ヲシテ次第ニ帳合ノ奥義ニ達セシメンガタメ

ノ手引草ナリ都テ取列ハ其事ノ差起リシ順序ニ從テ先
ツコレヲ日記帳ニ記ス即チ取列アリノマ、ノ記録ナリ
然ル後ニコノ記録ヲ清書帳ニ寫シ清書帳ヨリ大帳ニ寫
スナリ取列ノ事ヲ清書帳ヘ記スニ付キ心ヲ用ユ可キ箇
条第一ハ其取列ノ事ニ關ハル人歛又ハ物ヲ定ル事第二
ハ其人又ハ其物が取列ノ事ニ關ハル次第柄ヲ分明ニス
ル事第三ハ既ニ其人モ物モ定マリ其事ニ關ハル次第モ
明ナリシ上ハ七箇条ノ規則ニ從テ借貸ノ名目ヲ定ル事
ナリ譬ヘバ右ノ日記帳ノ初筆ニ山城屋ヨリ拭々ニテ麥
粉千俵買フトアリコノ處ニテ取列ノ事ニ關ハルモノハ

山城屋ト麥粉ナリ其取列ノ事ニ關ハリタル次第柄ヲ云
ヘバ此帳面ノ主人ハ山城屋ニ對シテ借ト為リ麥粉ハ其
元代ヲ以テ主人ヘコノ借ノ高ヲ列負ハセタルナリ乃チ
規則ニ就テコレヲ見レバ第六則ニ他人ノ勘定ハ此方ガ
其人ヘ對シテ列負ト為ルキ貸ナリトアリ又第三則ニ品
物ハ其元代ヲ以テ借ト為ストアリ清書ノ体裁ハ借ヲ先
ニシテ貸ヲ後ニスルノ法ナルユエ麥粉借六千圓山城屋
ヘ六千圓ト記シコレヲ大帳ニ寫スニハ麥粉ト山城屋ト
別ニ其勘定ノ坐ヲ設ケリ又清書帳ヘ事ヲ記スニ必ズシ
モ大帳ノ通りニ一々借貸ノ名目ヲ付ケズトモ其月日ト

金高トヲ扣ヘナバ事ノ始末ヲ示スニ十分ナル可キニ似
 タレ氏取列ノ目々ノタメニ清書ニモ借ト貸トヲ分チ二
 段ニ相對シテ記スハ帳合ノ通法ナリ又日記帳ノ上ニア
 ル(レ)ノ相斥ハ日記帳ニ記セル事ノ順序ニ從ヒコレヲ清
 書帳ニ寫取ル氏直ニ其箇条ノ上ニ付ケテ寫取リノ目々
 ニスルモノナリ又清書帳ノ上ニアル丁數ノ文字ハ清書
 帳ノ箇条ヲ大帳ニ寫取ル氏大帳ノ丁數ヲ記シ此箇条ハ
 大帳ノ何丁ニ寫シ彼ノ箇条ハ何丁ニ寫シタリトノ目々
 ニスルモノナリ又大帳ノ金高ノ上ニアル丁數ノ文字ハ
 清書帳ノ丁數ニテコノ金高ノ箇条ハ清書帳ノ何丁ヨリ

寫取リシトノ目々ナリ又大帳ノ勘定ハ付ケ掛リノ終ニ
 差置キ其始末ヲ見ルニハ一坐毎ニ借ノ方ニテモ貸ノ方
 ニテモ白紙ノ廣キ方ニペンシル西洋ノ石筆又ポトヲ以
 テ假ニ出入ノ差列ヲ為シ次テ其詳ナルヲ見ルニハ第四
 十丁ノ惣勘定ノ法ノ如クスルナリ但シ大帳ノ始末ヲ示
 スハコノ式ノ趣意ニアラズ其始末ノ十分ナルハ第二式
 ニ就テ見ル可シ
 コノ帳合ヲ學ブ者ハ都テ書中ニ舉ル所ノ吟味試業ヲ經
 テ一箇条ヲモ洩ラス可ラズ既ニ學ビシト未タ十分ニ
 解サズシテ妄ニ進テ次ノ新式ヲ學バントスルハ學者ノ

帳合之簿 卷之三

悪風固ク禁ズル所ナリ

第一式

明治六年

日記帳

一月一日

東京三田

福澤諭吉

| | | | | | |
|----------|----|-------|----|--------|------|
| 山城屋ヨリ買代掛 | 麦粉 | 子俵 | 二日 | 四六〇。セク | 六〇〇。 |
| 大和屋へ賣代現金 | 麦粉 | 三百俵 | 五日 | 四六五。セク | 一九五。 |
| 河内屋へ賣代掛 | 麦粉 | 二百八十俵 | | 四七〇。セク | 一七五。 |

行 帳合之簿 卷之三

三十五

| | | | | |
|---------------|------|-------------|-------------|-----------|
| 駿河屋ヨリ買代掛 | 子六百俵 | 二千七百 | 四、五、五、七、七 | 八、二、五、〇 |
| 甲州屋へ賣代掛 | 子俵 | 二千八百 | 四、六、〇、〇、七、七 | 六、〇、〇、〇 |
| 三河屋ノ手形列替心金請取 | | 二千九百 | | 五、一、五 |
| 伊豆屋へ賣代現金 | | | | |
| 小麦粉 | 又百俵 | 四、五、七、五、七、七 | 二、八、七、五、〇、〇 | 三、三、二、五 |
| 大麦 | 六百俵 | 九、〇、七、七 | 四、五、〇、〇、〇 | 一、〇、〇 |
| 書役給料五十圓家賃五十圓拂 | | 三十日 | | 三、六、三、八、五 |

第一式

明治六年

清書帳

一月一日

| | | | | |
|--|------|---|---------|---------|
| 二丁 小麦粉 | 山城屋へ | 借 | 六、〇、〇、〇 | 六、〇、〇、〇 |
| 三丁 心金 | 二日 | 借 | 一、九、五、〇 | 一、九、五、〇 |
| 小麦粉元代六千圓茅三則ニ從テ借ナリ此方ハ山城屋へ借ナルユエ山城屋ハ茅六則ニ從テ貸ナリ | | | | |

二丁 長命之公 卷之三

| | | |
|--|---|---|
| <p>正金ハ之ヲ請取タルユエ弟二則ニ從テ借ナリ麦粉之ヲ賣テ金ヲ得タルユエ弟三則ニ從ヒ其實上代ヲ以テ貸ナリ</p> <p>五日</p> | <p>河内屋</p> <p>借</p> <p>麦粉へ</p> <p>河内屋ハ此方へ引負ト為リタルユエ弟六則ニ從テ借ナリ麦粉ハ弟三則ニ從ヒ賣上代ヲ以テ貸ナリ</p> <p>七日</p> | <p>四</p> <p>請取口手形</p> <p>借</p> <p>麦粉へ</p> |
| <p>一七五。</p> | <p>一七五。</p> | <p>一〇五。</p> |
| <p>一七五。</p> | <p>一七五。</p> | <p>一〇五。</p> |

| | | |
|---|--|-----------------------------|
| <p>請取口手形ハ四則ニ從テ借。麦粉ハ三則ニ從テ貸</p> <p>十日</p> | <p>五</p> <p>小麦</p> <p>借</p> <p>拂口手形へ</p> <p>小麦ハ三則ニ從テ借。拂口手形ハ五則ニ從テ貸</p> <p>十二日</p> | <p>三</p> <p>正金</p> <p>借</p> |
| <p>五〇。</p> | <p>八〇。</p> | <p>一〇五。</p> |
| <p>五〇。</p> | <p>一二五。</p> | <p>六七五。</p> |

六丁 雜費

借

五〇

三丁

正金へ

雜費ハ七則ニ從テ借。正金ハ二則ニ從テ貸

五〇

一丁

麥粉

借

一五〇〇

三丁

正金へ

麥粉ハ三則ニ從テ借。正金ハ二則ニ從テ貸

一五〇〇

三丁

正金

十七日

借

六〇〇

二丁

麥粉へ

六〇〇

七丁

大麥

借

七五〇

七丁

尾張屋へ

大麥ハ三則ニ從テ借。尾張屋ハ六則ニ從テ貸

七五〇

四丁

請取手形

借

五一五

七丁

大麥へ

請取手形ハ四則ニ從テ借。大麥ト小麥ハ三則ニ從テ貸

四〇〇

五丁

小麥へ

一一五

二十日

三丁 正金

借

二、七三〇

二丁

麦粉へ

二、四〇〇

五丁

小麦へ

三三〇

正金八三則ニ從テ借。麦粉ト小麦八三則ニ從テ貸

二十五日

一丁 麦粉

借

八、二五〇

八丁

駿河屋へ

八、二五〇

麦粉八三則ニ從テ借。駿河屋八六則ニ從テ貸

二十七日

八丁 甲州屋

借

六、〇〇〇

二丁

麦粉へ

六、〇〇〇

甲州屋八六則ニ從テ借。麦粉八三則ニ從テ貸

二十八日

三丁 正金

借

五、一五

四丁

請取口手形へ

五、一五

正金八三則ニ從テ借。請取口手形八四則ニ從テ貸

二十九日

三丁 正金

借

三、三二五

二丁

麦粉へ

二、八七五

七丁

大麦へ

四、五〇

正金ハ二則ニ從テ借、麦粉ト大麦ハ三則ニ從テ貸

三十日

予 雜費

借

正金へ

雜費ハ七則ニ從テ借、正金ハ二則ニ從テ貸

一〇〇

一〇〇

三六、三八五

三六、三八五

第一式

大帳

借

元代

麦粉

賣上代

貸

| | | | | |
|----------|-------|--------|-------|-----|
| 明治 六月 | 一月 | ク | ク | ク |
| 一日 | 十五日 | 廿五日 | 廿五日 | 廿五日 |
| 山城屋へ | 正金へ | 駿河屋へ | | |
| 丁一 | 丁四 | 丁六 | | |
| 六〇〇〇 | 一、五〇〇 | 八、二五〇 | | |
| 明治 六月 | 一月 | ク | ク | ク |
| 二日 | 五日 | 七日 | 二十日 | 二十日 |
| 正金ニテ | 河内屋ニテ | 請取手形ニテ | 正金ニテ | |
| 丁一 | 丁二 | 丁二 | 丁三 | |
| 一、九五〇 | 一、七五〇 | 一、〇五〇 | 六、七五〇 | |

| | | | | | |
|----------|--------|--------|-----|--------|--------|
| 借 | | | | | |
| ク | ク | ク | ク | ク | 一月 六明治 |
| 九廿 | 八廿 | 二廿 | 七十 | 二十 | 日二 |
| 麦粉并大麥へ | 請取口手形へ | 麦粉并小麦へ | 麦粉へ | 小麦并麦粉へ | 麦粉へ |
| 九九二。 | | | | | |
| 丁七 | 丁七 | 丁六 | 丁四 | 丁三 | 丁一 |
| 三三二五 | 五五 | 二七三〇 | 六〇〇 | 八〇〇 | 一九五〇 |
| 正金 | | | | | |
| 請取入金 | | | | | |
| 貸 | | | | | |
| 有金 | | | | | |
| 出金 | | | | | |
| 入金 | | | | | |
| 雜費ニテ | | | | | |
| 雜費ニテ | | | | | |
| 雜費ニテ | | | | | |
| 丁八 丁四 丁四 | | | | | |
| 一五五 | | | | | |
| 一〇〇 | | | | | |
| 五〇 | | | | | |

| | | | |
|-------------|--|--|--|
| 借 | | | |
| 山城屋へ向テ此方ノ勘定 | | | |
| 山城屋へ此方ノ借 | | | |
| 六〇〇〇 | | | |
| 山城屋 | | | |
| 此方へ向テ山城屋ノ勘定 | | | |
| 貸 | | | |
| 正金 | | | |
| 同 | | | |
| 甲州屋ニテ | | | |
| 正金ニテ | | | |
| 一七三〇〇 | | | |
| 丁七 丁六 丁六 丁四 | | | |
| 二八七五 | | | |
| 六〇〇 | | | |
| 二四〇〇 | | | |
| 六〇〇 | | | |
| 丁一 | | | |
| 六〇〇〇 | | | |
| 一月 六明治 | | | |
| 日一 | | | |
| 麦粉ニテ | | | |
| 丁一 | | | |
| 六〇〇〇 | | | |

借

河内屋へ向テ此方ノ勘定

河内屋

此方へ向テ河内屋ノ勘定

貸

明治六年一月

五日

麦粉并大麥へ

丁二

一七五。

此方河内屋ノ借

一七五。

借

他ノ手形請取高

請取口手形

他ノ手形引替高

貸

明治六年一月

七日

麦粉へ

十二月

大麥并小麥へ

丁五 丁二

一〇五。

五一五

明治六年一月

八日

正金ニテ

手形請取高一五六五
同引替高 五一五
同有高一〇五。

丁七

五一五

借

元代

小麦

賣上代

貸

明治六年一月

十日

拂口手形へ

丁三

五〇。

賣上代
元代
賣徳

五七〇
五〇〇
七〇。

明治六年一月

二十日

正金ニテ

十二月

請取手形ニテ

五七〇。

丁六 丁五 丁三

一二五

一一五

三三〇。

帳合之法 卷之三

借

此方ノ手形引替言

拵口手形

此方ノ手形仕出言

貸

拵残ノ手形 五〇〇

明治 六月 十日 小麦ニテ

丁三 五〇〇

借

雜費拵為

雜費

貸

明治 六月 十四日 心金へ 同 一五〇 丁八丁四

一〇五〇

雜費拵為 一五〇

借

元代

大麦

賣上代

貸

明治 六月 十八日 尾張屋へ 賣上代 八五〇 元代 七五〇 賣德 一〇〇 丁五

七五〇

明治 六月 十二日 請取早形ニテ 心金ニテ 八五〇 丁七丁五

四〇〇 四五〇

借

尾張屋へ向テ此方ノ勘定

尾張屋

此方へ向テ尾張屋ノ勘定

貸

尾張屋此方ノ借 七五〇

明治 六月 十八日 大麦ニテ 丁五 七五〇

寺 長合之法 卷之三

借

駿河屋へ向テ此方ノ勘定

駿河屋

此方へ向テ駿河屋ノ勘定

貸

駿河や世方ノ借
八、二五。

明治
一月
五廿

麦粉ニテ

丁六
八、二五。

借

甲州屋へ向テ此方ノ勘定

甲州屋

此方へ向テ甲州屋ノ勘定

貸

明治
一月
七廿

麦粉へ

丁七
六、。

世方へ甲州やノ借
六、。

譯者註右ノ例ニ示ス大帳ノ勘定貸ノ方ノ文ニ何々ニ
 テト記セリ譬へバ麥粉ノ勘定ノ處ニ正金ニテ河内屋
 ニテトアリ此ニテノ文字少シ不都合ノヤウナレ氏原
 文ノマヽニ譯シタルナリ今其意味ヲ委シク云へバ正
 金ノタメニテ河内屋ノタメニテト云フ義ナリ毎度註
 解ニモ云へル如ク帳合ノ借貸ハ其坐ニ記セルノ物
 ノ有様ヲ示スモノナルユエコヽニテ麥粉ガ正金ニテ
 貸トハ一月二日大和屋へ麥粉ヲ賣リ其代ヲ現金ニテ
 請取タルユエ麥粉ハ大帳ノ面ニ於テ此正金ノタメニ
 貸ノ有様ニ為リタリト云フ義ナリ河内屋ニテ貸トハ

同月五日河内屋へ麥粉ヲ賣リ其代金ヲ直ニ請取ラズ
 シテ同人へ借シタルユエ麥粉ハ大帳ノ面ニテ此河内
 屋ノタメニ貸ノ有様ニ為リタリト云フ義ナリ
 又大帳ノ勘定ニ細字ニテ差引ヲ記ス一譬へバ第一箇
 茶麥粉ノ勘定ノ下段ニ一七、三。トアルハ賣上代合シ
 テ一万七千三百圓ト云フ一ヲ假ニ記シタルモノナリ
 又コレヲ上段ニ出シテ其高ノ内ヨリ一五、七五。ヲ引タ
 ルハ賣上代ヨリ元代ヲ引キ残ノ賣德ヲ示シタルモノ
 ナリ此差引ハ本文ノ端書ニモ云ヘル如ク何レモ假ニ
 記スモノユエ實地ニハ「ペンシル」ヲ用ヒテ可ナリ

惣勘定

右ノ諸帳面ニ由テコレヲ求レバ一月ノ間ニ取引セシ高
 賣ノ有様ヲ明ニシ出来掛リノ勘定ノマヽニテ其始末ヲ
 見ル可シ即チ大帳ノ勘定ハ左ノ如シ

平均之改

大帳ノ面ヲ示ス

| | | | |
|-------|-----------|--------|-------|
| 一五七五。 | 元代 | 賣上代 | 一七、三。 |
| 九九、二。 | 山城屋向テ芳ノ勘定 | 山城屋ノ勘定 | 六、。 |
| 一、七五。 | 請取入金 | 正金 | 一、六五。 |
| | 河内や向テ芳ノ勘定 | 河内屋ノ勘定 | |
| | 正金 | 並掛出金 | |

| | | | |
|-------|--------------------------|-------------|--------------------------|
| 一五六五 | 他ノ手形請取言 | 請取言取他ノ手形列替言 | 五一五 |
| 五〇〇 | 元代 | 小麦 | 賣上代 |
| 一五〇 | 此方ノ手形列替言 | 雜費 | 此方ノ手形仕出言 |
| 七五〇 | 元代 | 大麦 | 賣上代 |
| 六〇〇 | 尾 <small>向テ此方ノ勘定</small> | 尾張屋 | 此方 <small>向テ尾ノ勘定</small> |
| | 後 <small>向テ此方ノ勘定</small> | 後河屋 | 此方 <small>向テ後ノ勘定</small> |
| | 甲 <small>向テ此方ノ勘定</small> | 甲州屋 | 此方 <small>向テ甲ノ勘定</small> |
| 三六三八五 | 平等付合 | | 三六三八五 |

右ノ書付ヲ名ケテ平均ノ改ト云フ即チ此書付ノ趣意ハ大帳ノ面ニアル借ノ高ト貸ノ高ト互ニ平均シテ相違ナキヤ否ヲ改メ糾スタメノモノナルユエ斯ク名ケタルナリ抑モ大帳ノ面ニテ借貸ノ高ノ數ハ互ニ平均スルモ其實ノ勘定ニハ隨分誤モアル可キモノナレバ此平均ノ改ヲ以テ必ず大帳ノ勘定ニ間違ナシトノ證據ト為ス可キニハ非ラザレ氏先ツコノ書付ノ法ニ據レバ大概ノ事ニハ誤ナキヲ得ベシ即チ此書付ノ高ヲ見ルニ其高正シク清書帳ノ高ニ符合セリ若シモ清書帳ヲ大帳ヘ寫ス片ニ誤アレバコノ高互ニ符合ス可キ筈ナシ又清書帳

ノ高ハ日記帳ノ高ニ符合スルユエ取引ノ元帳タル
 日記帳ヨリ清書ヲ経テ大帳ニ至ルマデノ間ニ誤ナカリ
 シ一知ル可キナリ此勘定ニ於テ誤ノ出来ベキ道ハ唯二
 箇条アルノミ即チ清書帳ヲ扣ル一正シカラザル歟或ハ
 清書帳ヨリ大帳ヘ寫スキニ誤ル一アル歟コノ二箇条ヨ
 リ外ナラザルナリ
 此誤ヲ防グタメ右ニ記セル平均改ノ書付ニハ大帳ノ
 高ヲ示スニ全ク其惣數ヲ記シタリ若シ日記帳清書帳ニ
 拘ハラズシテ唯大帳ノ平均ノミヲ見ントスルニハ其惣
 高ヲ出ダスニ及ハズ唯出入ノ差ノミヲ記ス一尤ノ例ノ

如クシテ可ナリ

平均之改

借貸ノ差ヲ示ス

借 貸

| | | | |
|---------|----------|----|-------|
| 一 麦粉 | 正味ノ賣徳 | 利益 | 一、五五。 |
| 二 山城屋 | 同人へ此方、借 | 拂口 | 六、〇〇。 |
| 三 正金 | 有金 | 元手 | 八、二七。 |
| 四 河内屋 | 此方、同人、借 | 元手 | 一、七五。 |
| 五 請取口手紙 | 有高 | 元手 | 一、〇五。 |
| 六 小麦 | 正味ノ賣徳 | 利益 | 七。 |
| 七 拂口手紙 | 引替未済此方手紙 | 拂口 | 五、〇。 |

| | | |
|--------|---------|----|
| 八 雜費 | 雜費掛字 | 損七 |
| 九 大麥 | 賣德 | 利益 |
| 十 尾張屋 | 同人(は方)借 | 掛口 |
| 十一 駿河屋 | 同人(は方)借 | 掛口 |
| 十二 甲州屋 | は方(同人)借 | 九手 |

平等付合

此平均改ノ書付ニ於テモ借ト貸トノ平均ヲ示ス1前例ノ書付ニ異ナル1ナシ唯コノ例ノ書付ニハ同シ高ノ借ヲ以テ貸ヲ消シ又貸ヲ以テ借ヲ消シタルユエ大ニ金ノ

| | | |
|--------|-------|-----|
| 一七、二二。 | 六、〇。 | 一五。 |
| 一七、二二。 | 八、二五。 | 一〇。 |

高ヲ減シタルノミ此二様ノ書法各便利ナル處アリテ何レヲヨシトシ何レヲアシトス可ラズ或ハ法ヲ改メテ此兩様ノ便利ヲ一書ニ兼備セシメテ最モ都合ヨキ1アリ其例ハ後ニ示ス可シ
 借貸ノ差ヲ示ス平均ノ改ニ於テハ大帳ノ勘定ノ一筆毎ニ或ハ元手或ハ拂口或ハ利益或ハ損亡必ズコノ四箇条ノ始末ノ一ヲ見ハスガ故ニヨク心ヲ用ヒ其条々ノ順序種類ヲ誤ラズシテ明ニ書キ記ルス其ハ本式帳合ノ善ヲ盡シ美ヲ盡シタル學論ノ一義ヲ見ル可シ其一義トハ何ソヤ正味ノ損益ハ正シク身代ノ増減ニ符合スルトノ事

實即ナ是ナリ元ニ又惣勘定ノ書付ヲ二様ニ示スガ故ニ
 學者ハ宜ク丁寧ニコレヲ稽古ス可シ

元手ト拂口

元手

| | | |
|---------|-------|------|
| 三 正金 | 有金 | 八二七。 |
| 四 河内屋 | 此方同ノ借 | 一七五。 |
| 五 請取口手取 | 有高 | 一。 |
| 十二 甲州屋 | 此方同ノ借 | 六。 |
| | | 一七。 |

拂口

| | | |
|--------|-----------|------|
| 二 山城屋 | 同人ノ此方ノ借 | 六。 |
| 七 拂口手取 | 引替未済此方ノ手取 | 五。 |
| 十 尾張屋 | 同人ノ此方ノ借 | 七五。 |
| 十一 駿河屋 | 同人ノ此方ノ借 | 八二五。 |
| | | 一五五。 |
| | 現在ノ身代 | 一五七。 |

利益ト損亡

| | |
|-------|----------------|
| 利益 | |
| 一 麦粉 | 正味ノ賣徳 一、五五。 |
| 六 小麦 | ク 七。 |
| 九 大麦 | ク 一。 |
| 損亡 | |
| 八 雜費 | 雜費掛金 一五。 |
| 正味ノ利益 | |
| | 一、七二。 |
| | 一、五七。 |

右二様ノ書付ニ記セル番号ヲ前例平均ノ改ニアル番号ト比較シナバ大帳ノ勘定ハ一箇条毎ニ記シテ洩ラスナキヲ見ル可ク又其箇条ノ本趣意ヲモ明ニ知ル可キナリ殊ニ未段ノ利益ト損亡トノ勘定書ヲ見レバ本式ノ帳合ニハ一種ノ便利アルトノ次第ヲ合点シテ明ニ其證據ヲ握ル可シ或ハ事ノ意味ヲ深ク考ヘズシテ高賣ノ利益ハ唯身代ノ増シタルナリ其損亡ハ唯身代ノ減シタルナリト一概ニコレヲ云ヘバ亦其言ノ通りニテ相違モナキナレバ斯ク粗畧ニ物事ヲ論ジテハ未タ帳合ノ趣意ヲ解シタル者ト云フ可ラズ故ニ本式ノ法則ニ從テ大帳ノ

面ヲ證據ト爲シ惣勘定ノ書付ヲ作テ損益ノ有様ヲ示ス
1 右ノ例ノ如クシテ事ノ證據始テ實正明白ト爲リコレ
ヲ學問ノ体裁ト名ク可キナリ
正味ノ利益ヲ知ラントナラバ假ニ元入ノ金ナクシテ高
賣ヲ始メタル氏ノ有様ヲ考ヘ見ル可シ現在正味ノ身代
ハ必ズ正味ノ利益ニ同ジカル可シ
右ノ条々ニ解キ明ニセシ次第ヲ推シテ尤ノ定則ヲ得ル
ナリ

定則

第一則 正味ノ利益ヲ知ラシニハ利益ノ惣高ノ内ヨ

リ損亡ノ惣高ヲ引ク款又ハ高賣ノ終ニ現在
スル元手ノ内ヨリ高賣ノ初ニ用ヒタル元手
ヲ引ク可シ
第二則 現在ノ身代ヲ知ラシニハ元手ノ内ヨリ拂口
ヲ引ク款又ハ正味ノ利益ヲ正味ノ元手ニ加
フ可シ

活用ノ例

第一例 一助ナル者尤ノ元入ヲ以テ高賣ヲ始メタリ即
チ有金三百圓。バンクヘ預ケ金四千圓有品五千圓手形ニ

千五百圓アリ此元入ヲ以テ利益ト損亡トノ有様尤ノ如シ即チ高賣品ニテ利益千五百七十五圓景氣物積出シニ付テ利益五千圓雜費ニテ損亡三百圓貸シタラレニテ損亡千二百圓○右ノ通りニテ正味ノ利益ハ何程ナルヤ高賣ノ終ニ於テ元手ハ何程ナルヤ

答曰正味ノ利益五千零七十五圓高賣ノ終ニ於テ元手一万六千八百七十五圓

第二例 二助ナル者正金三千七百九十五圓八十三錢ノ元入ヲ以テ高賣ヲ始メ一年ノ終ニ至テ其元手ト拂口トノ有様尤ノ如シ即チ元手ノ高ハ有品五千七百二十五圓

有金三千八百七十五圓九十錢手形千五百圓他人へ貸シノ高八千五百圓ナリ拂口ノ高ハ拂口ノ手形八千圓他人ヨリ借りノ高三千五百圓ナリ○右ノ通りニテ一年ノ終ニ至リ同人ノ身代ハ何程ナルヤ其利ヲ得タル高ハ何程ナルヤ

答曰現在ノ身代八千一百圓零々九十錢利益ノ高四千三百零五圓零七錢

第三例 三助ナル者全ク元入ノ金ナクシテ高賣ヲ始メ一年ノ終ニ於テ大帳ヲ見ルニ其借貸ノ平均尤ノ書付ノ如シ

| | | |
|-------|-------|---|
| 正金 | 四、五〇〇 | 借 |
| 品物 | 一、五〇〇 | |
| 山城屋 | 一、二〇〇 | |
| 大和屋 | | |
| 河内屋 | 一、八七五 | |
| 和泉屋 | 四、七二五 | |
| 請取口子取 | 一、九〇〇 | |
| 拵口子取 | 一、一〇〇 | |
| 雜費 | 一、七五 | |
| | 九、二七五 | 貸 |
| | 九、二七五 | |

右ノ書付ノ通りニテ正味ノ利益ハ何程ナルヤ一年ノ終ニ於テ元手ハ何程ナルヤ
 第四例 尤ノ書付ハ高賣ヲ始テヨリ一年ノ後ニ至リ其有様ヲ示ス平均ノ改ナリ此平均ノ改ニ從ヘバ高賣ノ利益ト損亡ト元手ト拂口トノ區別如何

| | | |
|------|-------|---|
| 正金 | 一、三九七 | 借 |
| 品物 | 五、〇〇〇 | |
| 地面建物 | 一、〇〇〇 | |
| 大坂屋 | 四、〇〇〇 | |
| | 六、七九二 | 貸 |
| | 五、六二〇 | |
| | 一、二〇〇 | |
| | 二、五〇〇 | |

伊賀屋

雜費

請取口手取

拂口手取

伊勢屋

志摩屋

| | | | | | |
|-------|-------|-------|----------|-------|--------|
| 八〇〇〇 | 一、二〇〇 | 七〇〇〇 | 五〇〇 | 一、五〇〇 | 四七、五九七 |
| 九、七五〇 | 五〇〇〇 | 一、五〇〇 | 三、四三、四一六 | 一、〇〇〇 | 四七、五九七 |

右ノ問題並ニコノ次ニ示ス所ノ試業ニ答フルニハ三十九丁ニ記シタル惣勘定ノ体裁ニ從テ其書付ヲ作ル可キナリ

稽古人ノ試業第一番

覺書

一月一日 元ハナクシテ高賣ヲ始メ山城屋ヨリ高五千七百五十圓ノ品物買取り代金差引〇大和屋へ大中羅紗一尺五圓替ニテ一丈錦織一尺八圓替ニテ三尺賣渡シ代現金〇筆墨紙並ニ郵便切手代十圓拂

同二日 河内屋へ七圓五十錢ニテ羅紗羽織地一着二圓ニテ同飾裝束一揃裏地木綿一尺十二錢替ニテ五丈賣渡シ代金差引

同三日 和泉屋へ長靴一足三圓五十錢替ニテ一箱二十

四足。アラ子ル一尺五十錢替ニテ二丈五尺賣渡シ代金ハ六十日限同人ノ手形受取○大坂屋へ十圓ニテメリヤス一箱形付更紗一尺十錢替ニテ七丈五尺賣渡シ代現金

同五日 山城屋へ差引金五十圓拂

同七日 伊賀屋へ三千七百圓ニテ綿羅紗並ニ襦絆地木綿ノ送状賣渡シ代現金三千圓受取り殘金ハ差引勘定ナ

リ(註)

同九日 店賃百圓拂○河内屋ヨリ差引濟切ニテ金一一圓受取

同十日 伊勢屋へ大中羅紗一尺三圓七十五錢替ニテ二

丈吳紹一尺一圓替ニテ五丈賣渡シ代金差引

同十二日 志摩屋へ女物長靴一足二圓替ニテ十二足同

半靴一足一圓二十五錢替ニテ一箱二十四足男物長靴一

足四圓替ニテ三箱三十六足賣渡シ代現金

同十四日 書役給料五十圓拂○尾張屋へ襦絆一枚二圓

替ニテ一組十二枚縮吳紹一尺二十錢替ニテ一卷七丈五尺裏木綿一尺十錢替ニテ一卷五丈賣渡シ代現金

同十五日 三河屋ヨリ二千五百圓ニテ大中羅紗ノ送状

買取り代金ハ三箇月限此方ノ手形渡ス○遠州屋へ大中

羅紗一尺三圓五十錢替ニテ二卷五丈更紗一尺十二錢替

ニテ二丈五尺賣渡シ代現金

同十六日 山城屋へ差引金二千圓拂○駿河屋へ裏木綿一尺十五錢替ニテ十五丈。大中羅紗一尺四圓替ニテ五丈賣渡シ代金差引

同十八日 伊勢屋ヨリ差引濟切ニテ金一圓受取○甲州屋へ女物ゴム付襦袢一枚二圓替ニテ三組三十六枚。男物襦袢一枚二圓二十五錢替ニテ四組四十八枚賣渡シ代現金

同二十日 伊豆屋へ洒麻布一尺七十五錢替ニテ一卷五丈。金巾一尺十錢替ニテ三卷十五丈。裏木綿一尺十四錢替

ニテ五卷二十五丈賣渡シ代現金

同二十一日 相摸屋へ女物靴一足二圓替ニテ二箱四十八足。子供靴一足一圓五十錢替ニテ五箱六十足賣渡シ代金差引

同二十二日 小雜用十五圓五十錢拂

同二十五日 伊賀屋ヨリ差引金三百五十圓受取○山城屋へ差引金五百圓拂○武藏屋へ大中羅紗一尺四圓替ニテ五丈。吳紹一尺一圓二十五錢替ニテ七丈五尺賣渡シ代金差引

同二十七日 安房屋へ白紗一尺二十五錢替ニテ三卷六

大唐綫一尺十一錢替ニテ三卷十二丈賣渡シ代現金○上
 總屋へ極上フ子ル一尺一圓二十五錢替ニテ四丈更紗
 一尺十錢替ニテ八卷二十五丈賣渡シ代金ハ三十日限同
 人ノ手形受取
 同三十日 下總屋へ三千四百五十圓ニテ有品殘ラズ仕
 入帳ノ通りニ賣拂ヒ代現金○山城屋へ差引濟切ニテ三
 千二百圓拂

平均ノ改

充ニ記ス平均ノ改ハ前条ノ取引ニ於テ其始末ヲ明ニス
 ル大帳ノ有様ヲ示スモノナリ

學者コノ平均改ノ書付ニ由テ惣勘定ヲ作ルニハ第一式
 ニ示シタル惣勘定ノ法ニ從フ可シ

平均之改

大帳ノ面ヲ示ス

| | | | | |
|------|---------|---|---------|---|
| 山城屋 | 五、七五。 | 借 | 五、七五。 | 貸 |
| 品物 | 八、二五。 | | 八、九七一四五 | |
| 正金 | 七、七四七七。 | | 五、九二五五。 | |
| 雜費 | 一七五五。 | | | |
| 河内屋 | 一五五。 | | 一五五。 | |
| 請取手形 | 一七一五。 | | | |

伊賀屋
伊勢屋
拂口手形
駿河屋
相摸屋
武藏屋

| | | | | | |
|--------|-------|-----|------|------|-----|
| 二三、六三七 | 二九三七五 | 一八六 | 二二二五 | 一二五 | 七〇 |
| 四五 | 四五 | | 五 | | |
| 二三、六三七 | | | | 二、五〇 | 三五〇 |
| 四五 | | | | 一二五 | |

〔譯者註〕

覺書七日ノ取引ニ送状ヲ賣渡ストハ未タ品
 ハ渡サミルモ書付ヲ以テ賣渡シノ約条ヲ為スナリ
 帳合之法卷之三終

